

第18章 福島県文化財センター白河館

第1節 白河館の運営状況

1 利用者数

平成26年度の入館者は前年度の入館者（27,127人）とほぼ同数であった。団体利用は、前年度に比べ1,362名増加した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、429,676人となった。

（平成27年3月31日現在）

| | 入館者数(人) | ホームページ・データベースアクセス件数(件) |
|-----|---------|------------------------|
| 4月 | 2,489 | 100,271 |
| 5月 | 3,740 | 73,730 |
| 6月 | 3,362 | 100,960 |
| 7月 | 3,259 | 71,125 |
| 8月 | 2,696 | 71,315 |
| 9月 | 2,110 | 70,077 |
| 10月 | 2,541 | 63,125 |
| 11月 | 1,848 | 69,956 |

| | | |
|-----|--------|---------|
| 12月 | 1,145 | 60,824 |
| 1月 | 1,118 | 54,475 |
| 2月 | 1,528 | 51,776 |
| 3月 | 1,330 | 17,550 |
| 計 | 27,166 | 805,184 |

2 入館者の内訳と傾向

1日平均来館者数 4月：96人 5月：139人
 6月：134人 7月：116人
 8月：90人 9月：84人
 10月：94人 11月：71人
 12月：50人 1月：49人
 2月：66人 3月：51人

地域別利用状況 県内者 87%（うち白河市 35%）
 県外者 13%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒（高校生以下）が39%、団体入館者が38%を占める。

3 団体利用者の内訳と傾向

（単位 人）（平成27年3月31日現在）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------------------|------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|
| 幼稚園・保育園 | 団体数 | | 1 | 3 | 1 | | | 1 | | | | | | 6 |
| | 入館者数 | | 23 | 164 | 27 | | | 31 | | | | | | 245 |
| 小学校 | 団体数 | 12 | 17 | 26 | 16 | 2 | 11 | 10 | 2 | 1 | 6 | 1 | | 104 |
| | 入館者数 | 738 | 776 | 1,382 | 1,008 | 117 | 471 | 658 | 85 | 26 | 193 | 49 | | 5,503 |
| 中学校 | 団体数 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | | | 4 |
| | 入館者数 | 130 | 30 | | 60 | | | | | | | | | 220 |
| 高等学校 | 団体数 | | 1 | | | | | | 2 | | | | | 3 |
| | 入館者数 | | 29 | | | | | | 61 | | | | | 90 |
| 養護学校 | 団体数 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| | 入館者数 | | | | | | 10 | | | | 28 | | | 38 |
| 大学 | 団体数 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 2 |
| | 入館者数 | | | | 9 | | | | 13 | | | | | 22 |
| 幼小中高PTA （保護者のみ） | 団体数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | 入館者数 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 幼小中高PTA （保護者と児童生徒） | 団体数 | | | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 8 |
| | 入館者数 | | | 182 | 33 | 92 | 86 | 76 | 128 | | | | | 597 |
| 研究会 | 団体数 | | | 2 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 5 |
| | 入館者数 | | | 74 | 29 | | 25 | 121 | | | | | | 249 |
| 子ども会 | 団体数 | | | | 4 | 1 | 1 | | | | | | | 6 |
| | 入館者数 | | | | 171 | 23 | 19 | | | | | | | 213 |

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------------------|------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 公民館等 | 団体数 | 2 | | 3 | 3 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | 2 | 1 | 16 |
| | 入館者数 | 38 | | 58 | 76 | | 38 | 5 | 42 | 11 | | 65 | 8 | 341 |
| 福祉施設・ デイケアサービス | 団体数 | 2 | 4 | 6 | | 1 | 2 | 5 | 2 | | | | 1 | 23 |
| | 入館者数 | 34 | 55 | 109 | | 20 | 26 | 87 | 32 | | | | 43 | 406 |
| 資料館等 | 団体数 | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | 3 |
| | 入館者数 | | | | | 35 | | 9 | | | | | 32 | 76 |
| 歴史研究団体 | 団体数 | 1 | | | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 5 |
| | 入館者数 | 20 | | | | 30 | | 28 | 9 | | | | | 87 |
| 県・市町村・ 教委・審議会等 | 団体数 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | 11 |
| | 入館者数 | 67 | 180 | | 42 | 82 | 35 | | 29 | 18 | 6 | | 10 | 469 |
| その他 | 団体数 | 5 | 4 | 7 | 7 | 3 | 12 | 14 | 7 | 4 | 1 | 4 | 4 | 72 |
| | 入館者数 | 207 | 55 | 142 | 214 | 70 | 172 | 471 | 109 | 118 | 26 | 138 | 80 | 1,802 |
| 計 | 団体数 | 25 | 29 | 50 | 36 | 13 | 31 | 35 | 20 | 7 | 9 | 7 | 8 | 270 |
| | 入館者数 | 1,234 | 1,148 | 2,111 | 1,669 | 469 | 882 | 1,486 | 508 | 173 | 253 | 252 | 173 | 10,358 |
| 総入館者に占める 団体入館者の割合% | | 49 | 30 | 62 | 51 | 17 | 41 | 58 | 27 | 15 | 22 | 16 | 13 | 38 |

4 情報発信事業の利用者

文化財データベースアクセス件数805,184件

(平成27年3月31日現在)

(文化財データベース公開件数365,942件、文化財情報提供システム406件をインターネット上で公開し、白河館のイベント情報等もホームページで紹介している。)

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品約49,391箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理。

写真掲載・転載の申し込み28件、出土品借受の申し込み15件。収蔵庫保管品の館内閲覧10件。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

| 区分 | 研修対象者 | 研修内容 |
|------|------------|---|
| 基礎研修 | 教職員・市町村職員等 | 主に発掘調査技術の向上と整理技術の向上などをめざす。 |
| 専門研修 | 教職員・市町村職員等 | 考古資料を基に、深く細やかな指導を行うための知識や技術の習得と、総合的な歴史価値判断能力の習得などをめざす。 |
| 特別研修 | 教職員・市町村職員等 | 上記以外の研修(教職員を主な対象とする発掘調査研修、市町村職員等の要望に応じて随時実施する研修、無形の文化財に関する研修など) |

(1) 平成26年度研修実施状況

(平成27年3月31日現在)

参加者：合計 494名

・基礎研修

| | | |
|----------------|---------|---------|
| 「ゼロからはじめる資料管理」 | 5月24日 | 参加者 20名 |
| 「縄文時代の基礎知識」 | 7月5日 | 参加者 23名 |
| 「教職員等発掘調査体験研修」 | 8月5日～7日 | 参加者 12名 |
| 「民俗技術の保護と活用」 | 11月22日 | 参加者 9名 |
| 「住民をつなぐ文化財」 | 2月21日 | 参加者 3名 |

・専門研修

| | | |
|-----------------------|--------|---------|
| 「資料保存における監視・評価の実践的方法」 | 6月21日 | 参加者 20名 |
| 「文化財保護指導者研修会」 | 9月3・4日 | 参加者150名 |
| 「文化財と関連科学」 | 10月25日 | 参加者 24名 |
| 「過去の災害と調査法」 | 12月21日 | 参加者 14名 |
| 「救出された文化財の保護と活用」 | 1月24日 | 参加者 12名 |

<特別研修>

| | | |
|----------------|-------|---------|
| 「ミニチュアはにわづくり」 | 12月9日 | 参加者 19名 |
| 「大堀相馬焼の歴史と伝統」 | 8月31日 | 参加者 62名 |
| 「東日本大震災と文化財保護」 | 9月14日 | 参加者 25名 |
| 「発掘された大堀相馬焼」 | 9月27日 | 参加者 22名 |
| 「発掘調査から見た平田村」 | 1月27日 | 参加者 44名 |
| 「白河関と埜町の歴史を探る」 | 2月19日 | 参加者 35名 |

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

(1) 常時体験型体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体に体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、火おこし、勾玉づくり、土器づくりなどである。

常時体験型体験活動状況 (平成27年3月31日現在)

| | 来館者数(人) | 体験者数(人) | 割合(%) |
|-----|---------|---------|-------|
| 4月 | 2,489 | 1,977 | 79 |
| 5月 | 3,740 | 3,460 | 92 |
| 6月 | 3,362 | 3,573 | 106 |
| 7月 | 3,259 | 3,321 | 101 |
| 8月 | 2,696 | 1,355 | 50 |
| 9月 | 2,110 | 1,484 | 70 |
| 10月 | 2,541 | 1,663 | 65 |
| 11月 | 1,848 | 777 | 42 |
| 12月 | 1,145 | 273 | 23 |
| 1月 | 1,118 | 655 | 58 |
| 2月 | 1,528 | 832 | 54 |
| 3月 | 1,330 | 294 | 22 |
| 計 | 27,166 | 19,664 | |

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり・布づくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間6回実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

・まほろん森の塾

第1回 学校行事のため中止

第2回 「結団式・オリエンテーション・縄文食体験」

6月14日 参加者 7名

第3回 「縄文のムラを調べてみよう」

7月12日 参加者 7名

第4回 「縄文のムラを探検してみよう」

9月6日 参加者 7名

第5回 「縄文のムラ探検発表資料作成」

10月11日 参加者 7名

第6回 「縄文のムラ探検発表会・解団式」

12月13日 参加者 7名

・実技講座

「土器づくり初級編①製作」 5月11日 参加者 15名

「大堀相馬焼をつくろう①成形」 5月25日 参加者 17名

「大堀相馬焼をつくろう②絵付け・釉掛け」

6月15日 参加者 17名

「土器づくり初級編②野焼き」 6月22日 参加者 13名

「カラムシから布をつくろう①刈り取り」

6月28日 参加者 5名

「カラムシから布をつくろう②糸づくり」

7月12日 参加者 7名

「縄文ポシェットをつくろう」

8月2日 参加者 7名

「古代の染色にちょうせん」

8月9日 参加者 17名

「カラムシから布をつくろう③布づくり」

8月30日 参加者 5名

「鹿の角で装飾品をつくろう」

9月14日 参加者 7名

「勾玉づくり上級編」

10月 5日 参加者 5名

「埴輪づくり①製作」

10月19日 参加者 4名

「ひょうたんから容器をつくろう」 11月 9日 参加者 9名

「埴輪づくり②野焼き」 11月23日 参加者 2名

「古代の印章をつくろう」 11月30日 参加者 18名

「家族で門松をつくろう」 12月21日 参加者 23名

「古代の鏡をつくろう」 1月25日 参加者 11名

「縄文土器づくり上級編①形づくり」

1月31日 参加者 11名

「縄文土器づくり上級編②文様づけ」

2月 1日 参加者 11名

「ガラスと組紐でアクセサリをつくろう」

2月22日 参加者 12名

「縄文土器づくり上級編③野焼き」 3月 7日 参加者 11名

(3) まほろんイベント

「GWまほろんまつり」 5月3日～6日 参加者 1,486名

「まほろん夏まつり」 7月27日 参加者 268名

「まほろんを描こう」 9月13日～15日 参加者 43名

「まほろん秋まつり」 11月 3日 参加者 476名

「まほろんもちつき大会」 12月 7日 参加者 331名

「まほろん双六大会」 1月18日 参加者 28名

「まほろん冬まつり」 2月15日 参加者 400名

(4) 「おでかけまほろん」

文化財センター白河館の職員が、土器や体験学習器材を携えて、学校を訪問し、体験学習の支援をしたり、先生方と連携して授業を進めるプログラム。平成26年度は45校で実施。参加者数は延べ1,326名。

(平成26年度実績(実施日順)：会津坂下町立坂下南小学校、須賀川市立阿武隈小学校、いわき市立平第一小学校、南会津町立館岩小学校、郡山市立根本屋小学校、須賀川市立稲田小学校、須賀川市立大森小学校、川俣町立福田小学校、喜多方市立駒形小学校、本宮市立糖沢小学校、本宮市立岩根小学校、田村市立西向小学校、矢祭町立石井小学校、いわき市立湯本第二小学校、田村市立船引小学校、二本松市立旭小学校、福島県立豊学校福島分校、いわき市立藤間中学校、田村市立美山小学校、本宮市立白岩小学校、二本松市立石井小学校、塙町立塙小学校、猪苗代町立緑小学校、福島県立豊学校会津分校、石川町立母畑小学校、田村市立菅谷小学校、伊達市立上保原小学校、いわき市立上遠野小学校、郡山市立喜久田小学校、

伊達市立堰本小学校、棚倉町立近津小学校、二本松市立原瀬小学校、浅川町立浅川小学校、福島県立須賀川養護学校医大分校、三春町立中妻小学校、伊達市立大石小学校、二本松市立新殿小学校、二本松市立油井小学校、いわき市立夏井小学校、川俣町立川俣南小学校、矢祭町立内川小学校、矢祭町立関岡小学校、いわき市立川部小学校、福島県立須賀川養護学校、福島県立あぶくま養護学校)

(5) まほろん出前講座

公民館等生涯学習施設で実施される活動等を対象として、弓矢体験、勾玉づくりなどの体験学習を実施する。平成26年度は5か所で実施し、173名が参加した。

(平成26年度実績(実施日順)：福島市杉妻学習センター、柳津町中央公民館、須賀川市中央公民館、鏡石町公民館、国立那須甲子青少年自然の家)

(6) まるごとまほろん

文化財センター白河館に収蔵する発掘資料を、各地の行事等で展示するとともに、火おこし、弓矢などの体験学習も実施するプログラム。平成26年度は5か所で実施し、775名が参加した。

(平成26年度実績：国立那須甲子青少年自然の家、大玉村あだたらふるさとホール、国立磐梯青少年交流の家、那須高原ビジターセンター、須賀川市工房アミーコ)

(7) 講座・講演会

館長の講演会、白河館の学芸員などが講師となる「まほろん文化財講座」を開催した。

・館長講演会 シリーズ『はじめての考古学』

- 第1回「考古学ってなんだろう」
5月17日 聴講者 32名
- 第2回「遺跡の発掘現場に立って」
7月20日 聴講者 40名
- 第3回「出土遺物を観察する」9月20日 聴講者 25名
- 第4回「考古学の研究室で」11月15日 聴講者 25名
- 第5回「考古学を楽しむ」1月17日 聴講者 36名

・文化財講演会

- 「近世大堀相馬焼の編年と流通」6月14日 聴講者 37名
- 「特別史跡三内丸山遺跡と世界遺産」
7月19日 聴講者 55名
- 「会津地方の縄文時代」8月23日 聴講者 40名
- 「考古学の魅力ーエジプト考古学の最前線ー」
10月18日 聴講者 53名
- 「被災文化財の救済と保全」11月8日 聴講者 25名
- 「古墳時代の白河」12月13日 聴講者 40名
- 「放射能汚染と東北の自然」2月7日 聴講者 28名
- ・文化財に関するビデオ上映会
「3・11東日本大震災を乗り越えて」2月28日 観覧者 15名

8 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。

常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「話題の遺跡」、「みんなの研究ひろば」、「しらかわ歴史名場面」「ふくしまの宝物」については年間数回程度の展示替えを行っている。

- めぐみの森(導入部)
- 暮らしのうつりかわり
- 暮らしをささえた道具たち
- 遺跡を掘る
- 話題の遺跡(最新の話題になった遺跡の発掘調査成果等を紹介する)
- みんなの研究ひろば(体験学習などを通して得られた成果や、児童、生徒、一般研究家の研究成果等の発表の場として活用する。平成26年度は、被災地から救出された文化財の展示コーナーとしても活用した)
- ふくしまの文化財
- のぞいてみよう福島の遺産
- しらかわ歴史名場面(白河地方の文化財を集め、白河地方の歴史の一こまを展示する)
- クイズふくしま歴史発見

9 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

(1) 企画展

- ・ふくしま復興展
「発掘された大堀相馬焼」
4月26日～6月29日 観覧者7,480名
- ・指定文化財展
「法正尻遺跡と特別史跡三内丸山遺跡」
7月19日～9月15日 観覧者5,437名
- ・被災文化財復興展
「救出された双葉郡の文化財Ⅲ」
10月4日～1月12日 観覧者5,468名
- ・収蔵資料展
「磐越自動車道の遺跡ー会津盆地の弥生時代ー」
2月7日～5月10日 観覧者2,636名
(平成26年度中入館者数)

(2) 移動展

- ・ふくしま復興展
「発掘された大堀相馬焼」
福島県立図書館
8月8日～9月23日

10 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

- ・施設・展示の案内
- ・体験学習用機材の整備など
- ・ボランティア連絡会(3回開催)

(2) 登録数

個人ボランティア 20名